

2009年度

科目名	カウンセリング論		
担当教員	熊野 道子		
配当	教福3	コード	41300
開期	後期	講時	木曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	カウンセリングの代表的な理論と心理・行動アセスメントについて理解する。		
目的と概要	精神分析、行動主義、人間性主義、認知主義など心理臨床の代表的な理論と心理・行動アセスメントについて概説する。そして、生涯発達の観点から、乳児期から高齢期に至る各発達段階の心理特徴やその段階に多い臨床的問題を紹介する。		
成績評価法	出席状況、必要に応じて出す課題への取り組み状況、および試験によって総合的に評価する。		
テキスト	塚野州一(編著)「みるよむ生涯臨床心理学」北大路書房		
参考書	必要に応じて、授業の中で紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングとは 2. 心理臨床の諸理論(1)精神分析的アプローチ 3. 心理臨床の諸理論(2)行動主義的アプローチ 4. 心理臨床の諸理論(3)人間性主義的アプローチ 5. 心理臨床の諸理論(4)認知主義的アプローチ 6. 心理・行動アセスメント(1)面接・質問調査・行動観察 7. 心理・行動アセスメント(2)心理検査法、事例研究法 8. さまざまなカウンセリング(1)遊び・表現活動を取り入れたもの 9. さまざまなカウンセリング(2)自己変革をめざすもの 10. さまざまなカウンセリング(3)グループや社会的対応によるもの 11. 乳幼児期の臨床的問題 12. 児童期の臨床的問題 13. 青年期の臨床的問題 14. 成人期・高齢期の臨床的問題 15. まとめ 			